

魚津水族館におけるゴマファザラシ *Phoca vitulina* の出産記録

※¹ 浜 岸 豊 治

※² Toyoharu HAMAGISHI

魚津水族館では、1983年（昭和58年）1月23日より雄1頭（国内登録番号050）、雌1頭（国内登録番号051）の2頭のゴマファザラシを飼育展示している。飼育展示場所は、陸場面積22.5㎡、プール面積17.5㎡の合計40㎡の場所で、展示場所に付随して客の目にふれる事のない陸場面積4.4㎡、プール面積1.3㎡の隔離場所（産室）が設けてある。当館において出産は過去2回行われていて、今回で3回目である。

1回目は、1988年（昭和63年）4月1日の日中に行われたので、新生児をすぐ産室に隔離することができた。

2回目の出産は、1989年（平成元年）4月8日の夜中に行われ、発見時には新生児はプールに落ち、すでに溺死していた。

今回は、ゴマファザラシの妊娠期間といわれている12ヶ月（北・浅倉、1984）をめやすにして、1991年（平成3年）2月15日に母獣を産室に隔離し出産を待った。出産は、1991年（平成3年）3月27日の18時から21時までの間に行われた。新生児は、体長約70cm、体重10.5kgの雌で見掛け上の妊娠期間（交尾から出産まで）は、385日（1990年3月7日に交尾確認）であり、同日23時03分始めて授乳するのを確認した。

新生児の飼育状況は以下のとうりであった。

- 3月30日 12時47分始めて小屋内のプールに入る。〔3日齢〕
- 3月31日 10時45分臍の緒がとれているのを確認する。〔4日齢〕
- 4月10日 前肢の先端部及び眼のまわりの白い毛が抜けおち、黒い斑点が現われ始める。〔14日齢〕
- 4月17日 換毛ほぼ終了する。〔21日齢〕

- 5月3日 16時20分活ニジマスを小屋内のプールに放す。興味を示し魚を追いかけますが、捕まえることができない。〔37日齢〕
 - 5月10日 15時45分活アジ3尾をプール内に放す。嘔み殺して遊ぶがまだ食べようとしないので、親と切り離し単独飼育とする。〔44日齢〕
 - 5月12日 活アジを5尾食べる。〔46日齢〕
 - 5月18日 夕方、死んだアジ10尾をプール内に入れておく。〔52日齢〕
 - 5月19日 前日のアジ10尾のうち、3尾だけ残っていて7尾がなくなっている。（食べたと思われる）〔53日齢〕
 - 5月21日 死んだアジとサバの切り身を混ぜて、プール内に入れておく。〔55日齢〕
 - 5月22日 サバの切り身のみをプール内に入れておいたところ、これを全部食べる。〔56日齢〕
 - 6月2日 小量であるが、手からサバの切り身を食べるようになる。〔67日齢〕
 - 6月3日 用意したサバの切り身（500g）を全部直接手から食べる。〔68日齢〕
 - 6月7日 完全に手から餌を食べるようになったので、閉館後展示プールに移動する。体長約80cm 体重25.2kg〔72日齢〕
 - 6月8日 一般公開〔73日齢〕
3回の出産の出産日、見掛け上の妊娠期間等を表1に示した。
- 備 考
- 6月23日～7月31日までの間に入館した中学生以下の方々から愛称を募集したところ、1,475

※¹ 魚津水族館（富山県魚津市三ヶ1390）

※² Uozu Aquarium, Uozu, Toyama Pref., 937, Japan.

票の応募があった。8月22日に審査会が開かれ、応募数の多かった上位45位の中から審査し、その結果『ゴマ』と決定した。

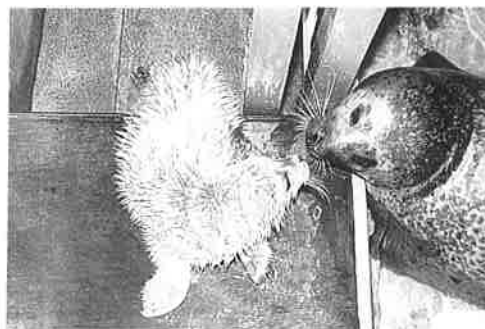
投票数が多かった上位5つの名前

ゴマ 203票 ミッシー 64票 ララ 53票

ラッキー 36票 ミラー 31票

文 献

Murray E. Fowler, 1984. 野性動物の獣医学
(北 昂, 浅倉繁春 監訳). p.524, 文永堂.
東京.



ゴマアザラシの親子

表1 ゴマフアザラシの出産記録

	1回目	2回目	3回目
出 産 日	4月1日	4月8日	3月27日
見掛け上の妊娠期間	366日	348日	385日
出生時の体長	約65cm	約80cm	約70cm
出生時の体重	9,0kg	7,5kg	10,5kg
換毛開始日齢	20日齢		14日齢
換毛終了日齢	26日齢		21日齢
初めて活魚を食べる	44日齢		46日齢
手から餌を食べる	53日齢		67日齢